

意見広告 賛同いただける方は裏面に署名をお願い致します。目的以外には使用しません。

諏訪町 太平田鉱山跡地の県産廃処分場建設は やめてください

森の恵み 多賀山地・鮎川の自然を生かした“日立グランドキャニオン”で新たな出発に

森林は「緑のダム」と言われます。山に降った雨水は、森林の作ったふかふかの土にしみ込んでいって、蓄えられ、ゆっくり土の中を流れて地下水となり、時間かけながら川へと流れてゆきます。

森から流れ出た水は、ミネラルを豊富にふくみ栄養分がいっぱいです。



太平田鉱山跡地

今回の、管理型産廃処分場の埋立て場内に降った雨水は、土の中に流れて地下水にはなりません。産廃の有害物質と混ざり合い、遮水シートで集められ処理施設から「市の下水道」に流されます。埋立て場外の雨水は、調整池に貯められ鮎川に流されます。有害物質の混じった雨水がしみ出せば、地下水脈でどこに行くかわからず、井戸水も湧き水も鍾乳洞も鮎川・桜川も汚染されます。このような山地・沢地への産廃処分場計画はやめてください。

日立市の新名勝、市民憩いと観光の自然周遊コースに

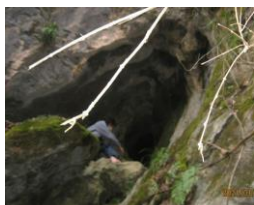
太平田鉱山跡地は、日立セメント（株）が100年にわたって石灰石を掘ったところで、見事な地層が現れています。永久に負の遺産となる産廃ゴミの埋め立て場にするのではなく、今ある自然を生かした活用が求められます。笠間市には、御影石採掘現場（石切り山脈）に、「茨城のグランドキャニオン」と呼ばれる絶景があり、プレミアムツアーが開始されています。日立市でも、「桜川風穴～鉱山跡地“日立グランドキャニオン”～鮎川水穴」を自然周遊の新名勝にすることも夢あることと思います。



笠間 石切山脈

日本最古地層の「多賀山地」と「太平田鉱山地層」は 学術的価値ある場所として注目されています

「日立市諏訪町太平田鉱山」は、世界ジオパーク認定の新潟県糸魚市「フォッサマグナミュージアム」に3億年前の地層として展示紹介されており、現在も化石の発掘調査が行われています。日立から常陸太田にかけては、日本最古5億年前の地層や岩石が現れる唯一の「ジオサイト」として注目されています。



大久保の風穴



諏訪の水穴

管理型処分場は「例外なき 欠陥処分場」

屋根無し管理型処分場の、雨水をためる遮水シートは、紫外線に弱い・ゴミの重力に弱い（特に斜面）・ゴミの化学物質に弱い・作業時の圧力で破損そして継ぎ目が最大の弱点です。粘土層でも漏水は止められない等、問題だらけでシートの破損事故も全国で多発しています。処分場の地下水からは、ダイオキシン類や大腸菌類が検出されています。



鮎川 諏訪梅林

「管理型は例外なき欠陥処分場」とゴミ弁連事務局長の坂本博之弁護士は明言しています。

日立市長の「建設反対」表明で処分場は出来ません。日立市につくるとは決まっています。

大井川知事は昨年5月26日に日立小川市長への処分場受け入れを要請しました。現在、県は日立市の回答待ちです。小川市長は、「議会審議・地元を始め住民等の理解・企業への影響等を勘案し、総合的に熟慮する」と述べています。県議会では「日立市が反対という判断をした場合、尊重するのか」との問いに対し、大井川知事は「当然そのとおり」と断言しています。

大子町長は「大子町内における最終処分場建設に対する反対表明について」令和元年5月20日に建設反対を表明しています。

引き続き署名を集めます。

ご賛同頂ける方は裏面の署名用紙にご記入ください。署名頂いた用紙は右記住所へご郵送頂くか、ご連絡をお願い致します。

2021年2月 県産業廃棄物最終処分場建設に反対する連絡会

連絡先 荒川照明 090-9845-7019

署名送り先 数藤まち子 〒316-0001 日立市諏訪町 5-24-7

ホームページ <https://voice2020.bona.jp>